

図書館情報

●お問い合わせ・本館 73-1616 ・清和 82-3033 ・蘇陽 73-2755
●休館日：全館共通（月曜日・月末日・祝日・お盆・年末年始）

—読書とは、自分の小ささを知ることです—

休館日のお知らせ

下記日程において図書館が休館となります。返却には、各館の返却ボックスをご利用ください。また、DVD・CD は破損する恐れがありますので、必ずカウンターにて返却して下さい。ご迷惑をおかけ致しますがご協力宜しくお願いいたします。

本館：9月6日(土)・7日(日)
※清和分館・蘇陽分館は開館します。

未返却の本がお家にありませんか？

返却期限が過ぎた図書館の本がお家にありませんか？本の貸し出し期限は2週間です。図書館では返却期限を過ぎた方へ、ハガキまたは電話連絡にて確認をさせて頂いています。

また、各公民館等で借りた本も図書館で返却できます。多くの方へ本が貸出できるようご協力を宜しくお願い致します。

★平成26年9月のわくわく号運行予定★



月日	巡回場所・時間
9月3日(水)	蘇陽南小学校(午後1時～) 馬見原保育園(午後1時30分～) 菅尾保育園(午後2時15分～) 二瀬本保育園(午後2時45分～) 蘇陽小学校(午後3時～) 蘇陽キッズ(午後3時15分～)
9月4日(木)	ブルーベリーの家(午前10時15分～) 蘇望苑(午前11時～) 蘇陽総合支所(午後0時30分～) 蘇陽中学校(午後1時30分～) ほたるの里(午後2時15分～) 大迫公民館(午後3時～)
9月5日(金)	スクランブル(午前10時30分～) 二瀬本コミュニティセンター(午前11時～) 花上多目的集会所(午後1時～) 上差尾興和商店(午後1時45分～) 大久保公民館(午後2時20分～) 菅尾まこと薬局駐車場(午後3時～)

月日	巡回場所・時間
9月17日(水)	金内公民館(午前9時45分～) こころ(午前10時30分～) 島木のお店(午前11時15分～) 矢部中学校(午後1時10分～) 白小野(午後2時～) さくらんぼ愛園(午後2時10分～) 大地(午後2時35分～)
9月18日(木)	稲生野(午前9時45分～) 一の瀬(午前10時20分～) よってはいよ(午前11時～) あおぞら(午後1時35分～) 富士ラーメン(午後2時～) 白糸事務所(午後2時30分～) 笈石(午後3時～) 菅(午後3時20分～)
9月19日(金)	風ノ木(午前10時～) 浜美荘(午前10時30分～) 千寿苑(午後0時30分～) 大矢荘(午後1時15分～) 光露館(午後1時40分～) 彩雲苑・すみれ(午後2時～)

月日	巡回場所・時間
9月9日(火)	小峰保育園(午前10時～) 清和小学校(午前10時30分～) 清和総合支所(午後0時30分～) 清和中学校(午後1時～) 大川保育園(午後1時30分～)
9月10日(水)	原尻公民館(午前10時～) 花高原(午前10時30分～) 井無田診療所横(午前11時～) 支援ハウス(午後1時～) 清和児童育成クラブ(午後3時30分～)

※蘇陽地区・花上多目的集会所が9月より巡回再開致します。
※図書館利用者カードをお持ちの方は、貸し出しに必要ですので必ずお持ちください。
※本をたくさん借りられる方はマイバッグの持参にご協力ください。巡回場所での滞在時間は約30分です。
※貸出期間は1か月です。次に借りたい方がいらっしゃいますので、返却期限での返却にご協力ください。

第151回 直木三十五賞・芥川龍之介賞決定！

第151回 直木三十五賞

「破門」

くろかわひろゆき
黒川博行著

角川書店 NDC913



直木賞を受賞した「破門」は「疫病神」「国境」「暗礁」「蟻蛄(けら)」と続く、通称疫病神(やくびょうがみ)シリーズ 5 作目です。アンダーグラウンドな世界を題材に取り扱っていますが、自称建設コンサルタントの二宮と経済ヤクザの桑原という、相性最悪のふたりが繰り広げるスピード感あふれるやり取りを中心にどんどん引き込まれていきます。

第151回 芥川龍之介賞

「春の庭」

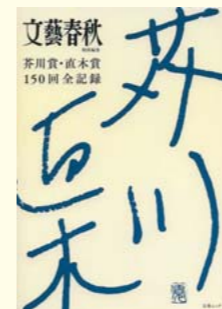
しばさきともか
柴崎友香著

文藝春秋 NDC913



芥川賞を受賞した「春の庭」は離婚したばかりの男性が、隣の家へ侵入しようとする女性を見つけます。注意しようと声をかけますが、女性には訳があって……。人々の何気ない日常を描いた小説を多く発表している柴崎氏。「きょうのできごと」という小説は行定勲監督により映画化されました。

直木賞・芥川賞
もっと知りたくなったら
こちらもおすすめです。



「芥川賞・直木賞150回全記録」 「直木賞受賞エッセイ集」

文藝春秋

受賞者たちの写真がふんだんに掲載されている「全記録」と、直木賞受賞者のエッセイ集です。当時の記録とエピソードも知ることが出来る2冊です。



「太宰治賞2014」

筑摩書房編集部

筑摩書房が1965年に開設した小説の新人賞です。2013年の受賞作は岩城けい氏の「さようならオレンジ」でした。2014年受賞作は井鯉こま氏の「コンとアンジ」です。新しい才能に大注目です！

今月のおすすめの本

家族狩り(文庫版全5巻)
天童 荒太著
新潮文庫 NDC913



天童荒太氏の代表作ともいえる「家族狩り」。ドラマ化された事もあり、再度読まれる方も多い小説です。「馬見原警部」という登場人物の名前に、みなさんは聞き覚えがあるのではないしょうか。そう、山都町のみなさんにはおなじみの地名ですね。文庫版家族狩り第2部「遭難者の夢」の作者あとがきをぜひ読んでみてください。なぜこの名前になったのか、その秘密がわかりますよ。